

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月紹介していくコーナーです!

だいら 太良まめなしの里に 出掛けてみませんか

令和7年3月にオープンした「太良まめなしの里」をご存知ですか。今回は、普通の公園とは少し趣が異なり、自然をそのまま残して整備された公園を紹介します。

太良まめなしの里 園内マップ



太良まめなしの里は、3つのため池や大草のマメナシ自生地などの豊かな自然環境を有した場所にある約1.67ヘクタールの広大な公園です。3つのため池は愛知用水が通水するまで、田んぼの貴重な水源として利用されました。2009年に地元の人たちの声から話し合いが進められ、2025年に「太良まめなしの里」がオープンしました。「大草のマメナシ自生地」は、1999年に発見され、2008年に小牧市の天然記念物に、2011年には愛知県の天然記念物に指定されました。

農地景観と自然を保全するための最低限の整備をしたシンプルな園内では、多種多様な植物や昆虫、野鳥を観察することができます。本場の意味で豊かな自然を体感できる絶好のスポットです。通常の公園とは違い、運動場や遊具などはなく、丸太

のベンチが数か所に配置されているだけです。

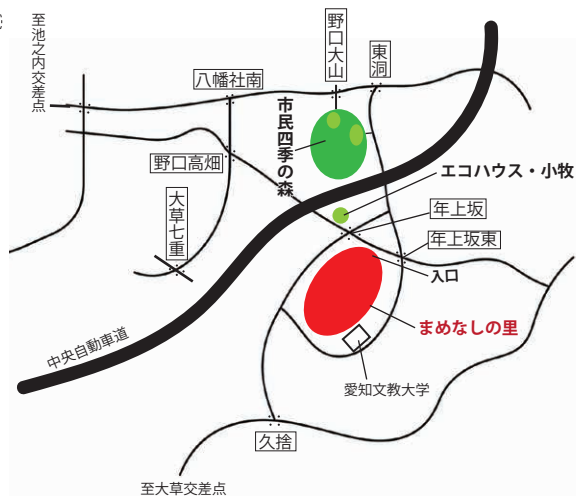
県指定天然記念物に指定された「大草のマメナシ自生地」は、約20本のマメナシの成木が自生する国内最大の自生地の一つです。自然環境が保全されていて、極めて貴重だという評価も得ています。春先には白い花を咲かせ、秋には直径1センチくらいの実がなります。

園内は、みはらし小屋や野鳥観察場など最低限の整備がされているだけであり、「遊ぶ」というよりは「自然を愛でる」、「自然に癒される」というイメージです。散策や散歩、

野鳥の観察に訪れたり、静かにベンチに座り読書を楽しんだり、穏やかな楽しみ方がおすすめです。

過去にはマルシェが開催されたり、毎年春にはマメナシ観察会が開かれたりしていて、広報こまき等で情報を手に入れることができます。園内は火気厳禁で、団体等利用する場合はみどり公園課への申請が必要です。

遠方に行かずとも、こんなに自然に溢れた場所が小牧にはあります。ぜひ一度、自然に触れる小旅行のようなお出かけを楽しんでみてはいかがでしょうか。



公共交通機関の場合

こまくる13野口大山線(桃花台センターと味岡駅間)または16城山大草線(桃花台センターとエコハウス・小牧間)に乗りし「エコハウス・小牧」下車、徒歩およそ3分

まめなしの里は、さまざまな団体、ボランティアグループの皆さんに支えられています！

毎月1回、ゆつくりめぐる「まめなし散歩」を開催



10月から始
めた「まめ
なし散歩」。
毎月第1
金曜日、午前

リユースバスケット

東部地域の多世代、多文化交流のきっかけをつくり、地域を盛り上げる活動を続ける団体「リユースバスケット」が、東部地域トライアル活動として、

9時に、太良まめなしの里・みはらし小屋に集合し、参加者で散歩しながら、おしゃべりしながら、ちよつとおやつをたべながら楽しい時間を過ごす企画です。終了予定は正午です。

散歩できる服装で、持ち物は、飲み物、おやつなど。参加費用は無料です。



アダプトプログラムに参加して、マメナシの里の除草をしました

ドリームサポートこまき

アダプトプログラムに参加し、太良まめなしの里の除草作業をする「ドリームサポートこまき」（今村政宏会長）。土木、水道、建設関連などモノづくりのできる小牧市、春日井市の企業の皆さん30人が



メンバーとなり、自分たちしかできない大変な作業を協力して行います。今年7月には、メンバーそれぞれ自分の器材を持ち込んで、園内の除草作業を行いました。その量、2トラック5、6台分というから驚きです。

「自分たちの生業で、市民の皆さんに役立ち、困りごとが解決できたらと思い始めました。『業界の人たちが、ボランティアとして一緒に汗をかける仲間になりたい』と思っています」と話し、

今月も、園内の除草作業を行う予定です。他にも、イベント参加など積極的にボランティア活動を行っています。



※アダプトプログラムに関しては下記二次元コードから内容をご確認ください。



自然共生サイトに登録準備中

現在、市では「大草のマメナシ自生地」を、環境省が運営する「自然共生サイト」に登録するための準備をしています。

「自然共生サイト」は環境省が認定する新しい取組で、民間や地域の人たちの活動によって生物多様性の保全が図られている場所を認定する制度です。

これは、2022年、生物多様性条約第15締約国会議（COP15）で採択された「2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しよう」という目的を達成するために作られた制度です。

花の咲く頃に、マメナシ観察会を実施

毎年、文化財課では、マメナシの花が咲く頃に、園内にある「大草のマメナシ自生地」で、観察会を開催しています。（令和8年は3月28日に開催）普段は保護のために立ち入りを制限している自生地内で、可憐なマメナシの花を観察することができます。開催日程等は、市ホームページ等をご確認ください。



編集後記



まさに、大自然。アウトドアな服装で出かけましょうね。

今回の取材先

みどり公園課

住所：小牧市役所東庁舎2階
電話：76・1191